



三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成—

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 23 号

令和8年1月30日発行

文責 校長 米倉佳美

筑後地区中学校新人駅伝競走大会 ～挑戦者たちの舞台～

1月14日(水)に、大牟田市諏訪公園周回コースで筑後地区中学校新人駅伝競走大会が開催され、男女それぞれ1チームが出場しました。新人大会のチームは、自ら参加の意思を表明してくれた精鋭たちで構成されています。どんなに寒い朝でも地道に練習を重ね、本番では三国中の代表として力強い走りを見せてくれました。それぞれがチームのために精一杯の力を発揮し、タスキをつなぐ姿はとても頼もしく、とても立派でした。出場したみなさん、お疲れさまでした。

筑後地区中学校新人駅伝競走大会

【女子の部】 10位 (39分42秒)

さん・さん・さん・さん (区間2位)
さん (※区間新)・さん・さん

【男子の部】 23位 (1時間7分50秒)

さん・さん・さん・さん
さん・さん・さん・さん

新入生説明会を開催しました! ～ようこそ三国中へ～

1月23日(金)に、来年度入学予定の小学校6年生を迎え、新入生説明会を開催しました。少し緊張した面持ちで体育館に入ってくる姿からは、中学校生活への期待と不安が入り混じった気持ちが伝わってきました。

説明会では、生徒会のみなさんが中学校生活の1日について、寸劇やクイズで分かりやすく紹介してくれました。自分たちの経験をもとに、中学校生活の魅力や心構えを丁寧に伝える姿が頼もしく、参加した6年生やその保護者からも好評でした。今回の説明会が、中学校生活への不安を少しでも和らげ、期待をふくらませる時間となったのであれば幸いです。生徒会のみなさん、準備から当日の参加まで本当にありがとうございました。

三国中校区「人権のまちづくり交流会」～1年生 さんが発表しました～

1月24日(土)に、ふれあい館三国で三国中校区「人権のまちづくり交流会」が開催されました。市長さんをはじめ、各区の区長さんや地域のみなさん、小中学校の先生方等が出席する中で、1年生のさんが『平和をつなぐバトン』という題で作文を発表しました。さんは、11月に行われた「おごおりっ子からのメッセージ」にも出場し、会場にいる人たちに強いメッセージを届けてくれました。今回も、平和や人権について、ちょっと立ち止まって考える素晴らしい機会となりました。

小郡ジュニア歴史博士受賞 おめでとう!

1月24日(土)に、小郡市文化会館大ホールにて第13回小郡ジュニア歴史博士表彰式が開催されました。3年生が夏休みの課題として取り組んだ作品を応募し、本校から12名が受賞しました。見事大賞に選ばれたさんは、『「つっこ」のこともっと知りたくなっちゃった』をテーマに、6年前に探究した内容をさらに発展させ、自ら現地に赴いて見学やインタビューを行うなどして研究内容をまとめあげました。独創性に富んだ内容であると高評価を得ることができました。

先生には、作品応募にあたり子どもたちへのアドバイスを丁寧に行っていただきました。三国中学校は学校賞も受賞することができ、大変嬉しく思っています。

以下に、本校の受賞者を紹介します。

【大賞】	さん	「つっこ」のこともっと知りたくなっちゃった
【佳作】	さん	旅籠油屋を訪ねて
	さん	博愛精神の高松凌雲先生 ~ふるさと小郡の偉人~
	さん	私の身近にある遺跡
	さん	小郡の歴史調査
【奨励賞】	さん	高松凌雲
	さん	Whyセタ 小郡とセタの関係
	さん	古代の発明品
	さん	小郡の有名人について知ろう
	さん	小郡官衙遺跡
	さん	中世の世界と小郡
	さん	小郡市はどのようにできていったのか



1年生 JICA の国際協力出前授業での学び ~国際社会の一員として~

1月27日(火)1年生の総合的な学習の時間に、JICA九州や九州海外協力協会から3名の方をお招きして、国際協力出前授業を行っていただきました。ネパールから日本に来た人が地震に遭ったという設定で、意見交流を行いました。災害時に必要な情報が伝わらない不安や、言葉の壁によって適切な行動がとれない可能性について、子どもたちは真剣に考え、「困ったことになってしまった理由は?」「隣に引っ越してきた外国の方と一緒にできることは?」など、互いの考えを丁寧に共有する姿が見られました。

小郡市には約1800人の外国人の方が暮らしています。その出身国・地域、話すことができる言語もさまざまです。今回の学びは、誰もが安心して暮らせる社会や地域づくりに向けて、相手の立場に寄り添って考えることの大切さを実感する貴重な時間となりました。

